

# 岡山市(岡山県)の一体的実施

平成25年 2月1日事業開始(福祉ジョブ・サポート・スペース岡山)  
平成25年10月1日事業開始(福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南)

北区中央福祉事務所施設内に「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山」(愛称: ジョブ・サポ岡山)、南区南福祉事務所内に「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南」(愛称: ジョブ・サポ岡山南)を開設し、生活保護受給者等に対する早期就職支援を市とハローワークが一体的に実施(福祉事務所併設及び事務所内実施は県内初)

市

福祉サービス、生活相談



国

職業相談、職業紹介

## ① 事業内容

- ・市とハローワーク岡山の双方の担当で構成される「就労支援チーム」を設置し、綿密な支援が必要な支援対象者ごとに、支援プランを作成する。
- ・担当者制(マンツーマン)により、策定したプランの進捗管理を行い、個々に選定した支援メニュー(職業相談・紹介、カウンセリング、職業訓練メニューの提供・相談等)を実施する。

## ② 協定・事業計画

- ・岡山市長と岡山労働局長の間で協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岡山市と岡山労働局の間で策定

\* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

## ③ 実施協議会

- ・岡山市職員(福祉事務所所長を含む)、岡山労働局職員、ハローワーク岡山職員等をメンバーとする運営協議会を設置

岡山市と国の緊密な相互連携と協働により、生活保護受給者等支援対象者の就職による早期自立の実現を図る。

# (1) 実施体制

## 岡山市

### 福祉ジョブ・サポート・スペース岡山

- ・ 自立支援員(嘱託) 2名

### 福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南

- ・ 就労支援相談員(嘱託) 2名

## 国(ハローワーク)

### 福祉ジョブ・サポート・スペース岡山

- ・ 就職支援ナビゲーター 2名、職業相談員 1名
- ・ 求人情報提供端末 3台、職業紹介端末 3台 配置

### 福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南

- ・ 就職支援ナビゲーター 2名
- ・ 職業紹介端末 2台 配置

# (2) 事業目標と取組状況

|           | 25年度事業目標                                       | 取組状況(26年3月末時点)                                   |
|-----------|--|--|
| 生活保護受給者   | ○支援対象者数 295人<br>○就職率 50%                       | ○支援対象者数 278人                                     |
|           | (参考)24年度事業目標(25年2月~3月)<br>・支援対象者数 34人 ・就職率 60% | (参考)24年度取組状況(25年2月~3月)<br>・支援対象者数 79人 ・就職率 15.2% |
| 児童扶養手当受給者 | ○支援対象者数 55人<br>○就職率 50%                        | ○支援対象者数 15人                                      |
|           | (参考)24年度事業目標(25年2月~3月)<br>・支援対象者数 4人 ・就職率 60%  | (参考)24年度取組状況(25年2月~3月)<br>・支援対象者数 2人 ・就職率 0.0%   |
| 住宅支援給付受給者 | ○支援対象者数 40人<br>○就職率 50%                        | ○支援対象者数 12人                                      |
|           | (参考)24年度事業目標(25年2月~3月)<br>・支援対象者数 7人 ・就職率 60%  | (参考)24年度取組状況(25年2月~3月)<br>・支援対象者数 4人 ・就職率 50.0%  |
| 合 計       | ○支援対象者数 390人<br>○就職率 50%                       | ○支援対象者数 305人                                     |
|           | (参考)24年度事業目標(25年2月~3月)<br>・支援対象者数 45人 ・就職率 60% | (参考)24年度取組状況(25年2月~3月)<br>・支援対象者数 85人 ・就職率 16.5% |

(注)支援プランを用いたチーム支援は、24年度に支援プランの対象となった利用者が、年度を越えて継続して支援を受ける場合があるため、「取組状況(25年3月末時点)」における就職者数・就職率については確定値ではない。

また、24年度実績については、「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山」のみの実績である。



## 岡山市における一体的実施について 岡山市長 大森 雅夫

人口総数 704,025人  
(H25.9末現在)



本市では、平成25年2月に、本市の福祉施策とハローワーク岡山の就職支援施策を一体的に実施するワンストップサービスの窓口「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山」を北区中央福祉事務所に併設し、福祉から就労まで一貫した支援を行っております。

これにより、福祉や就労に関する相談はもとより、職業相談や職業紹介、ハローワークの就職支援ナビゲーターによる支援等の幅広くきめ細かな対応が可能となり、長期離職者の就職をはじめとした着実な成果を挙げております。続いて、平成25年10月には、市内2箇所目の施設となる「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山南」を南区南福祉事務所内に開設いたしました。

本市における保護世帯数・受給者数は依然増加傾向にあり、就労可能な人への早期かつ効果的な支援が喫緊の課題となる中、2つの「福祉ジョブ・サポート・スペース」における福祉と就労の一体的支援の取組が自立の促進に大きく寄与するものと期待しております。

本市としましては、今後とも、ハローワーク岡山と緊密に連携し、生活保護受給者、児童扶養手当受給者、住宅支援給付受給者等に対して相談時からの早期の就職支援を行うことで、生活の安定と自立を支援してまいります。

# 一体的実施事業による就職成功例

10歳代女性 生活保護受給者

希望職種：一般事務

## ○ 抱える課題

- 自己理解、職業経験が乏しく職業感もないため安易に希望職種を選定していた。また、自己肯定感が低く希望職種に対しては極端な偏りがみられた。（支援開始時の希望職種は清掃）
- コミュニケーション能力が低く対人関係に不安を持っており、支援開始からしばらくは母親同伴でかなり過保護な印象を受けた。

## ○ 支援内容・ポイント・経過

- まずは過去の経験をじっくり聴いた。そのうえで「何がしたいのか」「何ができるのか」「何に価値観を感じるのか」を整理。自己理解を深め、職業理解をしたうえで応募先を選定するように支援。
- 将来のキャリアプランを見据え、就職活動をするように再三助言。それでも清掃業へ拘り1件応募、不採用となる。自身の体力面を考慮させ、事務職へ希望をシフト。応募書類作成や面接の指導を行った。

## ○ 結果

- 支援期間約3か月、応募求人3件目で採用決定。  
【職種：一般事務】

## ○ ハローワークの担当者の所感

- これまでの様々は状況により自己肯定感が極端に低い状態であった。自己理解を中心に支援を続け、模擬面接などで長所や強みの気づきも促して自己肯定感を上げていくことに注力。将来のキャリアプランを意識させ、職業訓練の選択肢も示唆しつつ、就職活動をサポート。支援の後半は母親からの依存を離れ、単独で相談に来られるようになった。まずは自信をつけるためにも頑張してほしい。

40歳代男性 生活保護受給者

希望職種：イタリア調理人

## ○ 抱える課題

- ホテルやレストランでの調理職一筋の方、H24年1月離職後新たな職が見つからず保護申請に至る。
- 給与20万円以上のイタリア調理人にこだわり就職活動をつづけていることもあり、なかなか就労に至らない。

## ○ 支援内容・ポイント・経過

- イタリア調理人にこだわり就職活動をするが不採用が続き、途中からは介護施設での調理や鮮魚店など調理全般に職種を広げて検討。しかし、本人のイタリア調理人へのこだわりは捨ててきていない様子がかがわれた。
- 本人の就労意欲が減退しないように、できるだけイタリア調理人の求人票も提供しながら支援を続けた。そのことにより、支援対象者と気持ちの共有や信頼関係を深めることにつながった。

## ○ 結果

- 支援期間約1か月、応募求人3件目で採用決定。  
【職種：イタリア調理人】

## ○ ハローワークの担当者の所感

- 支援対象者の“こだわり”に共感することで、「この就職活動で間違っていない」という本人の自信につながったように思う。